

レオビルド[®] SP8HR

RHEOBUILD[®] SP8HR

高性能AE減水剤 遅延形 (I種)

レオビルドSP8HRは、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」の高性能AE減水剤・遅延形 (I種)の規定に適合する良質な混和剤です。

レオビルドSP8HRは夏期における高流動コンクリートや高強度コンクリートに最適な高性能AE減水剤で、特に増粘剤系の高流動コンクリートには優れた効果を発揮します。

特長

1. 従来のAE減水剤よりも単位水量を大幅に減少させることができます。
2. ワーカビリティが著しく改善されブリーディングおよびコンクリートの沈下が減少します。
3. 架橋ポリマーの作用によりスランプロスを大幅に低減します。
4. 高流動コンクリートに使用しますと、長時間スランプフローを保持できます。
5. 水密性が著しく向上します。
6. 中性化ならびに凍結融解など、気象作用に対する抵抗性が向上します。
7. すりへり、摩耗などの機械的作用ならびに化学的浸食作用等に対する耐久性が向上します。

主成分および物性

主成分	外観	密度 (g/cm ³ , 20°C)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
ポリカルボン酸エーテル系化合物と分子間架橋ポリマーの複合体	赤褐色液状	1.04~1.11	1.5	0.01

*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

用途

高強度コンクリート、高流動コンクリートなど耐久性に優れたコンクリートから一般の土木・建築用コンクリートまで幅広くご使用いただけます。

使用量と使用方法

1. レオビルドSP8HRの標準的な使用量は、セメント質量に対して1.1%です。しかし、使用材料、ミキサの種類、コンクリート温度等により使用量が変動しますので、0.5~5.0%の範囲で目標の減水率が得られるように試し練りによって使用量を定めてください。
2. 本剤は練混ぜ水と同時に混合しますので、使用量に応じて単位水量を補正してご使用下さい。

空気量の調整方法

レオビルドSP8HRには、空気連行性の異なるAのついたタイプ(A₁、A₂~A_n)があります。

[n]の値は、1つ増すごとに空気量が0.3~1.0%程度順次多く連行するように調整されておりますので、所要の空気量が得られるように試し練りによってAタイプを決定してください。なお、基本タイプでも空気量が過大となる場合には、低空気連行タイプ(X₁~X₃)があります。

また、良質なAE剤の適当量を本剤とは別途に計量して空気量を調整する方法がありますので、当社セールスマンにご相談ください。

性能

レオビルドSP8HRのJIS A 6204による性能評価例

試験項目	高性能AE減水剤 遅延形規定値	試験値	評価	
減水率 (%)	18以上	18	適合	
ブリーディング量の比 (%)	70以下	35	適合	
凝結時間の差 (min)	始発	+60~+210	+120	適合
	終結	0~+210	+125	適合
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	125以上	159	適合
	材齢28日	115以上	134	適合
長さ変化比 (%)	110以下	98	適合	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	98	適合	
経時変化量	スランプ(cm)	6.0以下	0.0	適合
	空気量 (%)	±1.5以内	±0.0	適合

使用材料/セメント: 普通ポルトランドセメント3種混合 粗骨材: 青梅産硬質砂岩碎石(密度2.65g/cm³、MS20mm)
細骨材: 大井川水系陸砂(密度2.60g/cm³、FM2.67) 混和剤: レオビルドSP8HR (C×1.1%)

使用および取扱上の注意事項

- レオビルドSP8HRを推奨する使用量の範囲外で使用する場合には、あらかじめ性状を確認するか、当社セールスマンにご相談ください。
- 本品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように(凍結温度: -3℃)保管してください。
- 凍結した場合には、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
- 取扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、多量の水を飲ませ専門医の診察を受けてください。
- 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
- 使用および取扱いの前に、当社の製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

荷姿

21kgポリ内装箱、バルク

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポズリス株式会社

本社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(松本支店事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolite.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

